

- 1 会議名 第3回公共施設再配置検討協議会
- 2 日時 令和元年12月17日(火)
午前10時から午前10時32分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 総務部長 山田日出雄、教育こども未来部長 長谷川忍、秘書企画課長 伊藤新治、同企画政策グループ主幹 小出健二、行政課長 佐野剛、同財政グループ統括主査 酒井寿、同主任 酒井治、学校教育課長 石川文子、同学校教育グループ主幹 井手上豊彦、子育て支援課長 西井上剛、同児童グループ統括主査 林高行
傍聴者 0名
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主事 高山智史
- 7 会長あいさつ
- 8 総務部長あいさつ
- 9 報告事項

(1) 岩倉北小学校屋内運動場等複合施設について

学校教育課長：資料に基づき説明。ワークショップ対象者は、北小学校PTA役員、学童保育の父母の会、体育協会からそれぞれ約10人。場所は市役所の大会議室。

【質疑】

木村議員：12月9日までに行われたアンケート調査についてはまとめているところか。公表等はどのように考えているか。

学校教育グループ主幹：現在、集計中のためこの場で公表することは出来ないが、貴重な意見を頂いた。また教職員と保護者の意見で、同じような意見もあれば違う意見もあったので、そういう意見を採用し、計画に反映させていきたい。まとまり次第、何かの機会に紹介したいと思っている。

梶谷議員：アンケートは北小学校の全児童にも聞いてもらったということで、子どもたちに意見表明の場があったことは良い事だと思うが、アンケートの形態はどのような。記述式が多いのか。

学校教育グループ主幹：児童に対しては選択式ではなく、自由に意見を書いてもらう記述式にした。内容は、岩倉北小学校の素敵どころ、自慢できる場所は何ですか、新しい体育館であなたがやってみたいことは何ですか、新しい体育館にあったらいいなと思うものは何ですか、最後に、夢の体育館ができるとしたらどんな体育館ですか等、これは言葉でも絵でも自由に書いてもらった。色々な、すごい意見も出てきたが、少しでも採用できればいいなと考えている。集計中なので、まとまったら紹介したいと思っている。

水野議員：現実的に可能かどうかわからないが、学級会や児童会で、いわゆる民主的なとりまとめ、意見集約するというのを児童にしてもらうことは考えられないか。

学校教育グループ主幹：学校の先生の負担を考えてアンケート形式にしたが、その際に児童会とか生徒が集まったワークショップもできるのではないかと、の提案を先生の方からいただいたので、例えば来年、実施設計をやる中で例えば、どういう素材にしたいとか、どういう色にしたいとか、そういうものに児童に入ってもらい検討していくこともできるのかなと思っているので、今年度はアンケートだが、次年度は意見を集約するような場も検討したいと思っている。

（２）公共施設点検について

行政課長：資料なし、口頭説明。職員による施設点検については、公共施設長寿命化計画を進めるうえで、まずは施設の不具合を把握するために実施しているものである。この点検は、今年度から取り組むもの。施設点検のスケジュールの目標は、９月下旬までに点検を終え、その結果を行政課に報告することとしているが、今年度が初の取り組みであるということもあり、模索しながら実施をしているということもあり、点検やその報告について少し時間を要している状況である。進捗状況は、対象となる施設が全５８施設で、点検はすべて終了している。現在のところ約４０％にあたる２１施設について、点検結果の報告が行政課に提出されている状況である。施設点検の結果は内装、外装、屋外など多くの不具合箇所が報告されている。今後、すべての施設の点検結果を取りまとめ、内部で組織している推進本部、推進部会等に報告をし、今後の修繕等に活用していくことを予定している。

【質疑】

大野議員：今回は職員で行ったということだが、今後、建築士会へ委託することは検討しているか。

行政課長：前回の協議会でも大野副会長から提案いただいたと記憶しているが、今年度は、一級建築士の職員または建築に精通している職員の協力を得ながら施設点検をやっているので、今現在はそういった委託は考えていない。

堀議員：協力を得ながらというのは例えば、どのような協力の仕方なのか。

行政課長：担当課である行政課から、所属長宛てに文書で依頼している。対象施設が全５８施設あるので、依頼している技師は６～７名なので、面積にも拠るが、１人当たり６～９施設を担当する。例えば、学校単位、保育園単位、児童館単位など類似施設をまとめ、先ほど言ったように施設によって面積がかな

り異なるので、多少ばらつきは出るが、類似施設ごとに一つの枠を作り、資格を持っている技師に依頼をしている。

堀議員：担当課職員と技師が一緒に巡回して点検しているということでよいか。

行政課長：そのとおり。

木村議員：58施設の点検が終了して、21施設の点検結果が行政課に届いているということだが、修繕が必要な部分については予算案や今後の実施計画の中にあがってくるのだろうと思っているが、全体としてこの中身は、いつままとまって、議会にはどういう形で報告される予定なのか。

財政グループ統括主査：それぞれの施設ごとに、屋根、外装、内装、機械設備、電気設備、屋外と6つの部位に分けて報告をもらっており、今のところ、不具合の箇所が340か所程出ているが、点検する者の尺度と言うのか、細かいものも出ているので、一定取りまとめて、どこまで報告できるかということを経、検討したい。議会への報告も、今の段階では相当な数、それを資料でどこまで出すのかということもあるので、今後検討したい。

堀議員：進捗率40%とのことだが、報告期限はいつか。

財政グループ統括主査：1月末まで。

堀議員：1月末までに点検報告で、そこから来年度予算につなげるのは難しいと思うが。

行政課長：初年度ということもあり、かなりの数の不具合の箇所を見つけている。急ぐものは当然、予算ということにもなるが、不具合も通常の一般修繕で対応できる箇所もあり、来年度の一般修繕の中で早急に対応できるものもある。また、高額なものは実施計画を経て予算計上していきたいと考えている。

（3）サウンディング調査報告（青少年宿泊研修施設希望の家の譲渡）について

財政グループ統括主査：資料に基づき説明。

【質疑】

堀議員：この意見に対する岩倉市からの回答は、例えば浸水に対するリスクがあると言われて、今まではこうこうこういう状況でしたとか、そういったやりとりはないのか。

財政グループ統括主査：特に45分という限られた時間の中では、今の、浸水に対するリスクがあるのではないかという話は、これまで水に浸ったことはないですよ、くらいの回答はした。

堀議員：これは概要だが、詳細なものを見ることは可能か。どこかで公表されるのか。

財政グループ統括主査：開催概要であれば、国土交通省のHPで、参加団体がどういった案件で応募しているか公開されているが、当日の検討内容等は公表

ないし、主催者からも特に当日のやり取りについては未公表にしてほしいとの話をいただいている。できるだけまとめたものを、今回の調査報告としたが、特にこれ以上の意見は出てきていないのが現状である。

堀議員：この意見を見ても、これまで議会の中で出された意見と比べて変わりはない、目新しいものもないと思う。これはこれとして、これまでの議会の意見を取りまとめたものは出ているか。この希望の家に関して今までこんな意見が市民からあがっているとか。

(休憩)

総務部長：希望の家だけ取り出してまとめたりはしていない。経過も踏まえた話なので、改めての分析はしていない。

関戸議員：堀議員が言うように、想定内の回答だと思う。先程の発言の中でもう一回サウンディング調査するとかいろいろ意見があったが、同じような結論になっていくと思う。2つ質問があって、国土交通省主催のサウンディング調査をやったわけだが、他の施設もここに聞くことがあるのか。もう1つは最終的に公共施設再配置全体のスケジュールの中で決まっていくとは思いますが、この施設に対してサウンディングを今後やっていくのであれば、そのスケジュールについてお尋ねしたい。

財政グループ統括主査：再配置計画案では、希望の家は令和5年度の指定管理者の契約終了までに民間等への譲渡を検討していくとしており、サウンディング調査はその手法の一つなので、あくまでも希望の家に関してのみの予定。今後は、今回は国土交通省主催だが、県主催や他にも様々なサウンディング調査の情報は来ているので、また必要に応じて検討したいと考えている。

黒川会長：今後、内部的に条件の検討に入と思うが、令和5年の指定管理者の期限が切れるまでには譲渡の方向性のその具体的方策について決めていただくことになると思うが、いずれにしても、内部的な検討はこれからやるということでしょうか。

財政グループ統括主査：施設点検等もそうだが、庁内の推進本部や推進部会にも報告しながら今後の検討は進めていきたい。

(4) その他

なし

3 その他

なし